

令和7年度事業計画（案） （令和7年4月1日から令和8年3月31日）

< 基本方針 >

1. 全国事業（本部）と地域事業（支部）

日本金型工業会は、金型製造事業者による日本で唯一の全国団体として、全国事業（本部事業）と、東部支部・中部支部・西部支部による地域事業（支部事業）を運営する。

特に各支部は、当工業会の三本柱として、会員同士の距離が近いことを活かし、型種別や地域ごとの地区会を対面形式で積極的に開催する。

尚、地区会等が組織されていない地域においては、既存会員の受け皿となるとともに、会員増強を目的とした新規会員の受け入れを促進するため、新たな地区会の設置・運営を積極的に検討・実施する。

2. 特別プロジェクト「日本の金型産業を持続可能な産業にする事業」

令和2年に発表された「令和の金型産業ビジョン」では、日本の金型産業の将来に関する3つの課題が指摘されている。

- （1）内需の減少により、国内の金型メーカー同士が価格競争を繰り広げ、共倒れとなる恐れがある。
- （2）サプライチェーン（供給網）の見直しに伴い、金型の海外調達が加速する恐れがある。
- （3）国内の人口減少により、人材確保がますます困難になる恐れがある。

現在のままでも、金型企業および金型産業は量産産業の要として存続することは可能である。しかし、それは単に「生き残った企業による生き残った産業」にすぎません。そのような状況では、適正な利益を確保できず、必要な設備投資もままならず、人材も集まらない、将来性のない産業となってしまいます。

そこで、金型産業を若い人材が集まり、成長・発展する産業へと転換するため、令和5年度より特別プロジェクト「日本の金型産業を持続可能な産業にする事業」を立ち上げ推進役として、会長直轄の**「金型産業戦略会議」**を設置し、具体的な施策を実施してきました。

令和7年度は金型産業戦略会議の委員体制を一部改編し、本特別プロジェクトを引き続き継続事業として推進していきます。

3. 特別プロジェクト推進の基本理念

（1）業界ワンボイス

業界全体の意見を統一し、対外的な発信力を強化することは不可欠です。個別の主張では届きにくい要望も、一致したメッセージとして発信することで、政策決定や市場環境の改善に影響を与えることができます。その結果、業界の地位向上や規制の適正化、取引条件の改善が期待され、持続可能な成長と競争力の強化につながります。

(2) 「競争」「協力」「協調」

金型業界の持続的発展には、「競争」「協力」「協調」が不可欠です。「競争」により技術と品質を高め、「協力」によって業界全体の課題を解決し、「協調」によりライバルを尊重し、不毛な競争を避けるような新しい関係を業界内に構築することによって、品質向上やコスト競争力の強化、業界の地位向上が期待され、グローバル市場での競争力向上につながります。

< 全 国 事 業 >

1. 日本の金型産業を持続可能な産業にする事業

金型産業戦略会議（4名）第二ステージメンバー

委員長 山 中 雅 仁 (株)ヤマナカゴーキン

委 員 鈴 木 教 義 (株)鈴木

委 員 松 岡 寛 高 七宝金型工業(株)

委 員 松 井 大 介 (株)阪村エンジニアリング

日本の金型産業を持続可能な産業にする事業を実施するために、以下の「稼ぐ力の四つの推進軸」ごとのWGによる事業を実施する。

(1) 価格決定力WG (リーダー 渡 辺 隆 範 日型工業(株))

(2) 市場拡大(海外含む)WG (リーダー 大 場 総一郎 (株)狭山金型製作所)

(3) 魅力度(広報含む)WG (リーダー 平 岡 良 介 平岡工業(株))

(4) 商品企画(技術力含む)WG (リーダー 打 田 尚 道 (株)打田製作所)

2. 技術委員会事業

技術委員会（17名）

委員長(中) 久 野 功 雄 久野金属工業(株)

委 員(東) 小野澤 諭 (株)オギハラ

委 員(東) 坂 井 雄 一 キヤノンモールド(株)

委 員(東) 佐 藤 声 喜 (株)KMC

委 員(東) 鈴 木 將 生 マルスン(株)

委 員(東) 高 橋 幹 也 双葉電子工業(株)

委 員(東) 牧 野 俊 清 (株)長津製作所

委 員(東) 森 脇 謙 治 (株)放電精密加工研究所

委 員(中) 近 藤 紗也子 ムツミ工業(株)

委 員(中) 鈴 木 大 輔 (株)サンワ金型

委 員(中) 鈴 木 政 幸 (株)三琇ファインツール

委 員(中) 田 中 幸 好 (株)田中金型製作所

委 員(中) 三 宅 和 彦 (株)セントラルファインツール

委 員(中) 向 井 慎 吾 (株)ME I S E I

委員（西）山 中 雅 仁 (株)ヤマナカゴーキン
委員（賛）坂 西 伸 一 日本金型産業(株)
委員（賛）森 清 二 (株)ミスミ

金型並びに金型関連産業の技術・規格に関する事業及び技術委員会関係の行政施策への要望や協力事業を実施する。

- (1) 工場見学会・技術セミナー等を開催する。
- (2) 金型関連技術に関する各種技術情報を収集並びに金型用語の整備を行う。
- (3) 金型規格分科会にて金型関連規格（JIS・ISO 等）の動向に対応する。
- (4) 中央技能検定運営（金型関連技能検定委員推薦など）に協力する。
- (5) 卓越した技能者の表彰者（現代の名工）推薦に関する活動を行う。
- (6) 金型製造業に関連する法規制などに対応する。
- (7) SDGs に関して各委員会横断的に推進事業を行う。
- (8) テーマ別WGが情報配信を行う。

①技能伝承 WG

・人から人・人から媒体経由で人・人からデジタル化で機械（ロボット）

②金型センシング WG

・金型使用者のためのスマート金型・金型製作者のための効率化

③製造プロセス WG

・生産工程における自動化・無人化・効率化・ムダを省き利益率向上

- (9) 技術委員会を開催する。
- (10) その他、技術委員会に関係する事業を必要に応じて適時実施する。

3. 経営労務委員会事業

経営労務委員会（7名）

委員長（東）米 谷 強 (株)米谷製作所
委員（東）打 田 尚 道 (株)打田製作所
委員（東）小 泉 秀 樹 (株)ペッカー精工
委員（東）佐 藤 正 樹 小林工業(株)
委員（中）小 塚 義 典 コヅカテクノ(株)
委員（中）石 川 幹 人 (株)リバン・イシカワ
委員（中）山 田 徹 志 (株)日章

金型並びに金型関連産業の企業経営に関する事業及び経営労務委員会関係の行政施策への要望や協力事業を実施する。

- (1) 賃金・労働時間調査を行い、集計結果を報告書として正会員に配布する。（3月頃）
賃金調査報告書は回答企業のみ配布する
- (2) 働き方改革改正法・事業承継に関して等の情報提供を積極的に行う
- (3) SDGs に関して、各委員会横断的に推進を行う
- (4) 金型業界動向調査を行い、集計結果を報告書として正会員に配布する。（10月頃）

- (5) 簡易金型景況調査を3ヶ月毎年4回行い、集計結果を報告書として会員に配布する
(4. 7.10. 1月・調査月)
- (6) 金型図面データー・金型加工データーの知的財産保護に関する活動を行う
- (7) 金型取引改善分科会の活動を行う
会員有志による金型取引改善分科会を設置・運営し、金型代金の前金制度、金型図面・加工データーの保護などについて推進活動を行う。但し、取引に関係することなので覆面分科会として分科会メンバー名は公表しない
- (8) 会員企業の法律・労務管理・社会保険に関してサポートを行う
(弁護士・社会保険労務士による会員向け無料相談システム)
- (9) セーフティネット保証5号に基づく特定業種の指定に関する調査票を作成する
- (10) 経営力強化セミナーを開催する(事業承継・M&Aに関するセミナーを継続的に行っていく)
- (11) 金型に関連する統計資料を収集・編集して情報提供する。
(機械統計(月毎)・工業統計(年毎)・輸出入統計(月毎)・その他関連統計)
- (12) 金型製造業における新たな外国人受入れ制度の適正運用に関する活動を行う
- (13) 経営労務委員会を開催する
- (14) その他、経営・労務に関する事業を必要に応じ適時実施する。

4. 広報委員会事業

広報委員会(7名)

委員長(東)	小 泉 秀 樹	(株)ペッカー精工
委 員(東)	石 川 雅 也	池上金型工業(株)
委 員(東)	鈴 木 教 義	(株)鈴木
委 員(東)	高 橋 清 一	清和金型工業(有)
委 員(東)	千 葉 英 樹	(株)チバダイス
委 員(中)	斎 藤 清 司	(株)斎藤金型製作所
委 員(中)	嶋 田 宏 樹	(株)日嶋精型

金型並びに金型関連産業に関する社会への啓発、広報活動事業及び広報委員会関係の行政施策への要望や協力事業を実施する。

- (1) KANAGATAの世界DVD・たい焼き同好会型探しを活用して学校関係(教育関係)へ金型業界及び日本の金型のPR活動を行う。
- (2) 小中学生などに学生向けて金型に関する知見を広める活動を行う。大阪科学技術館に出展したブース(テーマ「金型の世界 ～すべての製品は金型から作られる～」)を有効利用する。
- (3) 小中学生など学生の見学会受け入れを他の委員会・支部と共同で実施方法に向けての検討を行う。
- (4) 機関紙「金型」を年4回発行する。

- (5) ホームページを運営して会員・会員外に金型関連の情報を提供する。
- (6) ホームページについて、トップ画面を中心にレイアウトを見直し、訪問者の閲覧をスムーズにする。
- (7) 紙冊子の会員名簿を廃止し、ホームページ上により検索性、閲覧性の高い会員名簿を作成する。
- (8) S D G s 推進に関して、各委員会にて横断的に行う。
(SDGs 会員向けパッケージの活用及び周知を行う)
- (9) インターネット「メールマガジン」機能を利用して会員・会員外に金型関連の情報を提供する。
- (10) インターモールド 2025&金型展 2025（東京）を開催する。
- (11) インターモールド 2025&金型展 2025（東京）工業会会員出展ブース設営を行う。
- (12) インターモールド 2026&金型展 2026（大阪・名古屋）開催準備を行う。
- (13) インターモールド 2026&金型展 2026（大阪・名古屋）工業会会員出展準備を行う。
- (14) 第 17 回学生金型グランプリ（東京）を開催する。
- (15) 第 18 回学生金型グランプリ（大阪）開催準備を行う。
- (16) その他、広報委員会関する事業を必要に応じて適時実施する。

6. 国際委員会事業

国際委員会（17名）

委員長（西）	山 中 雅 仁	(株)ヤマナカゴーキン
委 員（東）	池 上 正 信	池上金型工業(株)
委 員（東）	伊 藤 敬 生	日進精機(株)
委 員（東）	大 場 総一郎	(株)狭山金型製作所
委 員（東）	河 野 透	双葉電子工業(株)
委 員（東）	熊 谷 勇 介	共和工業(株)
委 員（東）	牧 野 俊 清	(株)長津製作所
委 員（中）	近 藤 紗也子	(株)ムツミ工業
委 員（中）	高 橋 茂 壽	(株)高橋精機工業所
委 員（中）	松 岡 咲 希	七宝金型工業(株)
委 員（中）	渡 邊 祐 子	(株)MEISEI
委 員（西）	平 岡 良 介	平岡工業(株)
委 員（賛）	木 野 晴 喜	(株)MOLDINO
委 員（賛）	山 本 英 彦	(株)山田ドビー
委 員（外）	柏 原 登	インターモールド振興会
委 員（外）	茄子川 仁	(株)事業革新パートナーズ
委 員（外）	横 田 悦二郎	日本金型工業会学術顧問

金型並びに金型関連産業に関する国際交流・協力事業及び国際委員会関連の行政施策への要望や協力事業を実施する。

- (1) 必要に応じて国際金型協会（ISTMA）・アジア金型協会（FADMA）などの国際会議に参加する。
- (2) 日本の金型業界を代表して世界各国、地域と金型に関する国際親善に対応する。
- (3) 広報委員会と協力して海外向けの広報活動を行う。
- (4) 外部機関と連携して会員企業の要請に応じた海外展開のサポート(橋渡し)を実施する。
- (5) オンラインツール（ZOOM 等）を最大限に活用して、海外金型関連情報の収集と提供を行うとともに海外の会員企業を含む国際交流を深める。（セミナーの開催等）
- (6) 国際委員会を開催する。

7. 総務財務委員会事業

総務財務委員会

委員長（中）	山 田 徹 志	(株)日章
委 員（東）	大 場 治	(株)狭山金型製作所
委 員（東）	並 木 正 夫	(株)並木金型
委 員（東）	星 野 俊 一	(株)北辰金型工業所
委 員（中）	魚 岸 力	魚岸精機工業(株)
委 員（中）	迫 田 幸 博	(株)エムエス製作所
委 員（中）	野 田 泰 義	K T X(株)
委 員（中）	小 出 悟	(株)小出製作所
委 員（西）	河 野 允 熙	東洋金型工業(株)

他委員会事業以外で工業会の目的を達成するために必要な事業及び総務・財務委員会関連の行政施策への要望や協力事業を実施する。

- (1) 工業会の活性化、組織の強化、資産の健前な維持・運用を図る
- (2) 会員増強に関する事業を重点的に引き続き行う。

【会員増強キャンペーン】

入会金 0 円キャンペーンの継続

全国金型企業（会員外）データに基づき 1 会員 1 社勧誘活動の実施

（会員増強シートの活用）

- (3) S D G s に関して各委員会横断的に推進事業を行う。
- (4) 行賞規程及び「金型の日」表彰要領に従い「金型の日」における表彰を行う
- (5) 慶弔規程内規に従い会員及び職員の慶弔見舞を行う
- (6) 会員調査（正会員）アンケートを行う
- (7) 第 5 2 回金型の日（場所 ANA クラウンプラザホテル・名古屋市金山）を開催する
- (8) 第 1 期生・第 2 期生・第 3 期生向け金型アカデミーを開催する
- (9) シニア金型マスターに対して金型アカデミーを開催する
- (10) 金型学校を運営し各種人材育成セミナーを開催する
- (11) 金型学校の一環として新入社員向けセミナー【はじめての金型学校】を開講する
（令和 6 年度新規事業にて開始したが内容を一部変更し大阪地域でも開催する）

- (12) 金型学校の一環として、はじめての図面の読み方セミナー動画（eラーニング）頒布を行う
- (13) 第11回全国金型交流会・金型ゴルフコンペを開催する（担当：東部支部ゴルフ会）
- (14) かながた小町分科会の活動を行う（下記 事業計画記載）
- (15) 機械補償制度・火災補償制度及び労災補償制度の継続に関して検討を行う
- (16) 全国中小企業団体中央会の補償制度を活用する
- (17) 会務及び諸規定等の策定・見直しを行う
- (18) その他、総務、財務に関する事項について検討を行う
- (19) 総務・財務委員会を開催する
- (20) 日本金型工業健康保険組合、日本金型工業企業年金基金の活動に協力する
- (21) 会長および理事会による特命事項について検討を行う

かながた小町分科会

会 長（中）渡 邊 裕 子 (株)MEISEI
 委 員（東）東 香奈恵 (株)狭山金型製作所
 委 員（中）松 岡 咲 希 七宝金型工業(株)
 委 員（中）近 藤 紗也子 ムツミ工業(株)
 委 員（西）山 中 春 佳 (株)ヤマナカゴーキン
 委 員（外）小 川 朋 加 Brave-Win

- (1) SNS（You Tube ・ インスタグラム ・ ホームページ）を利用した、かながた小町のPR活動の活性化
- (2) インターモールドでのパネルディスカッションによる情報発信
令和7年4月16日 インターモールド会場内 パネルディスカッション開催
- (3) 日本金型工業会会員企業も女性を主とした工場見学の実施
- (4) 日本金型工業会会員企業の女性を主としたセミナー開催

8. 技術情報管理認証制度事業

認証運営委員会（7名）

委 員 長（中）小 出 悟 (株)小出製作所
 副委員長（本）中 里 栄 日本金型工業会
 委 員（東）打 田 尚 道 (株)打田製作所
 委 員（外）川 名 正 幸 アイテーム
 委 員（外）松 下 正 夫 I Tコーディネータ協会
 委 員（外）山 川 元 博 I Tコーディネータ協会
 委 員（外）山 戸 昭 三 早稲田大学
 グローバルソフトウェアエンジニアリング研究所

金型に関連する認証事業並びにサイバーセキュリティ関連に関する事業を実施する。

- (1) 産業競争力強化法に基づく技術情報管理認証制度の認証機関としての認証業務を認証運営委員会として実施する。
- (2) 金型業界の技術情報管理の高度化を推進する。
- (3) その他、認証委員会に関する事業を必要に応じて適時実施する。

< 地 域 事 業 >

■東部支部事業計画案

1. 委員会活動

(1) 技術委員会

- ①金型技術の向上を図るため第51回金型関連技術発表講演会を開催する。
- ②金型製造現場における技術的な問題や課題の解決を目指す金型生産システム研究会幹事会を運営する。
- ③金型業界ならびに関連業界の技術情報を収集する。

(2) 経営労務委員会

- ①令和時代の金型産業ビジョンに関するセミナーを開催する。
- ②事業承継や働き方改革等、経営・労務に関するセミナーを開催する。
- ③その他、経営・労務に関する事業を適時実施する。

(3) 広報委員会

- ①金型業界の知名度向上とともに金型の重要性を広報する活動を行う。
- ②支部新年懇親会・総会やその他研修会の講師選定など企画を立案する。
- ③会員増強に向け、各種の広報活動を行う。
- ④東部支部熟年経営者の会である「金型湯島会」の運営を補助する。
- ⑤東部支部ゴルフ会を年6回開催する。
- ⑥本部広報委員会事業のサポートを行う。

(4) 活性化委員会

- ①会員増強事業を企画・検討・実施する。
- ②金型業界ならびに関連業界の動向について情報収集を行う。
- ③金型業界で注目を集めているテーマについて、適時、研修会やセミナーを開催する。
- ④会員企業のニーズを集め新規事業を企画し、各委員会へ提案を行う。

2. 型種別部会・地区会活動

型種別及び地域別（下記）にセミナーや見学会、意見・情報交換会を実施し、業界内外の新しい情報の取得、意見・情報交換、会員企業間の交流を目的に部会・地区会を開催する。

- (1) プラスチック型部会
(城東地区会、城西地区会、城南地区会、城北地区会)
- (2) プレス型部会
- (3) 鋳鍛DC型部会 (鋳造・鍛造・ダイカスト)
- (4) ゴム型部会
- (5) 新潟地区会 (新潟県内に本社あるいは事業所 (工場・営業所等) を有する正会員)
- (6) 福島地区会 (福島県内に本社あるいは事業所 (工場・営業所等) を有する正会員)

3. その他

- ①経済産業省、関東経済産業局、東京都をはじめとする各行政機関が実施する事業に協力する。
- ②日本金型工業健康保険組合、日本金型工業企業年金基金の活動に協力する。
- ③若手経営者並びに後継者で組織している天青会の運営に協力する。
- ④その他、東部支部の事業目的を達成するための諸事業を行う。

【中部支部度事業計画 (案)】

1. 部会活動

7つの部会(ゴム・プラスチック型部会、プレス型部会、ダイカスト型部会、鋳造型部会、鍛造型部会、浜松部会、北陸部会)では対面による開催をベースにおくとともにWEB会議の特長も活かし厳しい経営環境のなか将来に向かって成長の糧となり得る勉強会や見学会、技術交流会、現場力改善活動発表会等を開催し情勢把握や技術の向上及び人材育成等を図る。

2. 委員会活動

委員会活動は以下の事業を計画する。

(1) 運営委員会

支部を運営し、総会運営案並びに役員人事に関する件について検討する。

各委員会並びに部会へ協力態勢をする。

(2) 役員会

本部理事会終了後の伝達並びに支部独自の運営について必要事項討議の為、随時開催を予定する。

(3) 経営・労務委員会

①事業承継及び金型企业特有の財務の考え方に関するセミナーを実施する。

②退職者を出さないウェルビーイングな職場づくりに関する企画を実施する。

(4) 技術委員会

①正会員、賛助会員、大学等の技術研究機関等と協力して、最先端技術や数年後の技術等についての研究成果及び事例の発表の場として特別講演会等を企画運営する。

②公的試験研究機関並びに大学等との交流を深め、新技術の開発と金型技術の向上を図る。

③金型関連企業及び団体各位に協力を求め、海外情報をはじめ講習・講演会の共催を依頼する。

(5) 福利厚生委員会

会員各社の和と健康保持を奨励し、ソフトボール大会・他のレクリエーション事業も検討して主催する。

開催日程

①第53回ソフトボール大会 令和7年10月11日(土) 於：諸の木グラウンド

②ソフトボール決勝大会(中京地区開催) — 令和7年11月8日(土) 午後於：同上

③親善ボウリング大会 — 令和7年12月7日(日) 於：名古屋グラントボウル

(6) 広報委員会

①新春講演会並びに新春賀詞交歓会を企画運営する。

②日本金型工業会会報及びホームページ内中部支部ページについて掲載内容等の企画検討をする。

③関係官庁・諸団体からの各種案内について、メール配信を推進する。

④本部広報委員会に協力すると共に支部に設置のない本部委員会の情報を速やかに伝達する。

(7) 会員増強・金型企業活性化戦略委員会

①会員が交流のある会員外企業を各事業へ勧誘する機会として見学会や勉強会を地区会活動の一環として企画し会員増強を図る

②会員企業が抱える課題に対し気付きや解決の一助となる魅力的な企画を開催する。

(8) その他

①関係各官庁、業界団体の講習会・講演会等の案内を速やかに連絡して知識吸収を奨励する。

②イーグル会、中部金型クラブの運営に協力する。

③日本金型工業企業年金基金、日本金型工業健康保険組合の活動に協力する。

■西部支部事業計画(案)

令和7年度西部支部のメインテーマは「自社の価値を高め、人を育て、共に育つ経営」を目標とし、会員増強につなげる為、下記の3点を軸に活動をしていくこととする。

1. 環境の変化による金型の将来性を考える勉強会の開催

→ 時代の流れ(SDGs、DX、AIなど)に乗り、なおかつ儲かる経営に繋げる

2. 自社の魅力を発信し顧客獲得に繋げる為の勉強会の開催

→ 国内金型業界だけでなく、広く「海外市場」「他業界」「他分野」における知識を学び自社の未来を切り開く“糧”とする

3. シン時代に応じた人材を「獲得・定着・育成・活かす」為の勉強会の開催

→ 自社の価値を高める人材の採用や人材の適材適所を見出す「気づき」に繋げる

具体的な活動としては下記の事業を実施する。

1. 講演会・工場見学会など企業間の連携を生み出す「出会いの場」として、また仕事を生み出し儲ける経営に繋がる勉強会を開催する。
2. 第14回金型関連技術発表講演会を開催する。
3. 第13回西部支部総会（令和7年度事業計画説明会）を開催する。
4. 西部支部新年懇親会を開催する。
5. 会員増強事業としての地域別交流会を開催する。
6. 会員増強事業としての非会員企業向けの「会員無料体験事業」を実施する。
7. 若手の会としての「型青会」を運営する。
8. 会員の親睦を目的としたゴルフ会を運営する。
9. 型技術協会など金型関連の他団体と交流を深める。
10. 日本金型工業企業年金基金、日本金型工業健康保険組合の活動に協力する。
11. 経済産業省、各行政機関の事業に協力する。
12. 西部支部役員会を開催する。
13. その他、西部支部の事業目的達成のために必要な活動を行う。